

3章 住宅政策の目標

1 基本理念

岩見沢市では、人口・世帯数の減少や少子高齢化などの影響により、空き家等の増加や住宅地における地域コミュニティの衰退、地域の住宅関連産業の活力の低下など住生活を取り巻く多くの課題が顕在化しており、市民が安全・安心に暮らし続けることのできる住環境の形成が必要です。

また、これらの住宅施策の推進にあたっては、上記課題への対応とともに、豊かな自然環境や、ゆとりある住空間など本市の持つ優位性を活かした魅力ある住まい方・住まいづくりの実現が求められます。

市では、前計画において、本市の住生活を取り巻く環境・課題を踏まえ、四つの基本目標を掲げ、住まい手・住民、事業者、行政の連携・協働により住宅政策の推進に取り組んできたところです。

本計画においては、住まいだけでなく住宅を取り巻く住環境向上にも取り組み、「だれもが安心して住みたいと思える安全で快適な住まいづくり」を目指します。

基本理念

だれもが安心して住みたいと思える
安全で快適な住まいづくり

2 基本目標

前述の基本理念のもと、住宅施策の目標を以下の三つに定めます。

基本目標 1 安全・安心・快適な住まい【適正な住宅供給】

少子高齢化社会においては、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、だれもが安全に安心して暮らすことのできる住宅供給が求められます。

このため民間住宅においては、住宅確保要配慮者向け住宅の供給促進に努めるとともに、市営住宅等の公的賃貸住宅については、適正な建替や、維持管理を行いながら、市民の安全・安心・快適な住まいづくりを目指します。

基本目標 2 良質な住宅ストックの形成【住宅の質の向上】

年間平均降雪量が7mを超える本市の環境特性を踏まえ、新たに建設される住宅は、「（仮称）北方型住宅 2020」の基準に適合する住宅供給を推進するとともに、既存住宅については、耐震改修、高断熱・高気密化した省エネ改修など住宅性能向上に資するリフォームを推進します。

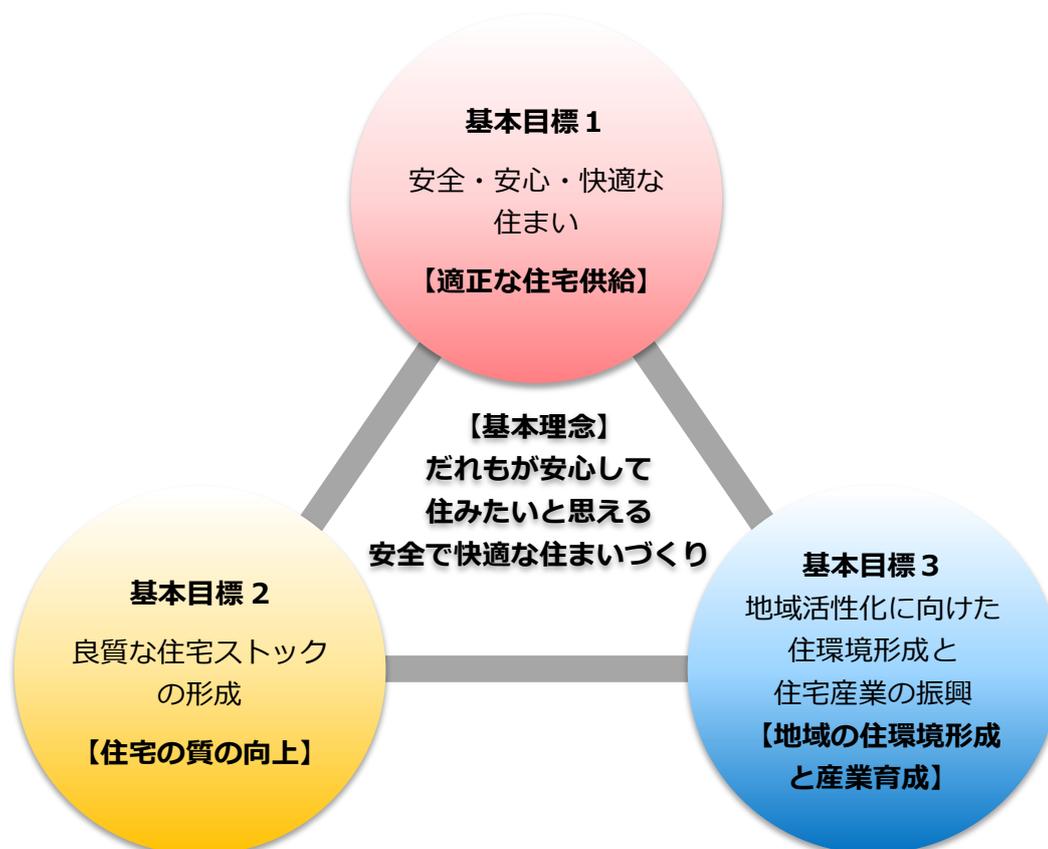
また、住宅のミスマッチ¹を解消し、良質な住宅の流通を活性化するため、住宅に係る情報提供を総合的に行う窓口の設置を進めます。

基本目標 3 地域活性化に向けた住環境形成と住宅産業の振興

【地域の住環境形成と産業育成】

豊かな自然環境や美しい景観を有する本市の地域性を生かすとともに、中心市街地の賑わいを創出するコンパクトなまちづくりを進めます。

また、住宅産業は、材料などの生産加工から建設、サービスまで幅広い産業と関わるすそ野の広い産業構造となっていることから、地域産材の活用により、地域の技術力を生かすとともに本市にふさわしい良質な住まいづくりの担い手はもとより、地域経済や地域の活性化に寄与する活力ある産業として、住宅関連産業の更なる発展を目指します。



¹住宅のミスマッチ：

高齢者など少数の家族が広い戸建て住宅などに居住する一方で、子どもの数が多いファミリー世帯が狭い賃貸住宅などに居住している状態。